

系統用蓄電池事業組成セミナー

国から補助金が出る最新投資商品

セミナー
開催日時

第1日程

2025年

4月22日

火

第2日程

2025年

4月24日

木

配信方法・時間

オンライン開催

13:00~14:30

(ログイン開始：開始時刻30分前～)

【申込期日】銀行振込み：開催日6日前まで クレジットカード：開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合もございます。

受講料

一般価格

税抜20,000円(税込22,000円)/1名様

会員価格

税抜16,000円(税込17,600円)/1名様

会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧：FUNAIメンバーズPlus)へ ご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

セミナー内容

第1講座

系統用蓄電池の事業モデルと組成手順について

株式会社船井総合研究所
建設支援部 再生可能エネルギーチーム

大淵 聖悟



第2講座

【令和7年度】系統用蓄電池の導入で活用できる補助金情報

株式会社船井総合研究所
補助金コンサルティング部 コンサルティングチーム
チーフコンサルタント

佐藤 実



第3講座

明日から取り組んでいただきたいこと

株式会社船井総合研究所
建設支援部 再生可能エネルギーチーム

リーダー 土井 康平



日程が合わない
企業の皆様へ 個別にご対応いたします。下記までお問い合わせください。
TEL:0120-958-270 (平日9:45~17:30対応) 担当: 土井 康平(どい こうへい)
大淵 聖悟(おおぶち せいご)

お申込み方法

【QRコードからのお申込み】
右記QRコードからお申込みください。

【PCからのお申込み】
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/126529>

船井総研ホームページ(<https://www.funaisoken.co.jp/>)に
右上検索窓に「126529」をご入力し検索ください。

船井総研セミナー事務局

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp TEL 0120-964-000 (平日9:30~17:30)

※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。



系統用蓄電池×補助金

収益構造と補助金のポイントを徹底解説！

最大補助率2/3・上限20億※

早期参入で先行者利益を狙える事業

※記載の内容は「令和6年度 系統用蓄電池・水電解装置導入支援事業」における公募内容で令和7年度は未定です(2025年2月現在)

系統用蓄電池事業組成セミナー 【オンライン開催】

お問い合わせNo.:S126529

主催



サステナブルな社会を。 Funai Soken

株式会社船井総合研究所

〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

開催日時

- ①2025年4月22日(火)
13:00~14:30
- ②2025年4月24日(木)
13:00~14:30



当社ホームページ、もしくは右記QRコードからお申し込みいただけます
(船井総研ホームページ<https://www.funaisoken.co.jp/>]右上検索窓に問い合わせNo「126529」を入力ください)

系統用蓄電池ビジネスの概要と本セミナーでお伝えする内容を一部ご紹介します！

1

系統用蓄電池とは？

系統用蓄電池とは、電力系統に直接接続する蓄電池のことです。酷暑が続くエアコンがフル稼働する夏に、電力不足のニュースを目にしたことがある皆様も多いのではないのでしょうか？そのような電力の需給のバランスが崩れている際に、バランスを整える役割を果たしていくのが「系統用蓄電池」です。電力供給が過多の時間帯に電池に電力を貯め、電力不足の時間帯に電池から電気を放電するための設備です。

系統用蓄電池のモノは右図のように、基礎を作り、コンテナのような盤の中に電池が陳列されています。市街化調整区域でも建設可能で、特に農地や雑種地などの土地に多く建設されています。



学べる
ポイント

- ✓ 系統用蓄電池事業の事業モデルがわかる
- ✓ 系統用蓄電池の組成手順がわかる

2

どうやって収益が出る？ ビジネススキームを解説！

電力も為替と同様、常日頃から市場取引がされており、電力供給が過多で電力価格が安い時間帯もあれば、供給不足で電力価格が高い時間帯もあります。系統用蓄電池ビジネスは、電力価格が安い時間に系統から電気を購入して充電し、電力価格が高い時間に電気を放電して売却し、その差額で収益を得るビジネスです。



学べる
ポイント

- ✓ 事業の収益構造がわかる
- ✓ 収益シミュレーションがわかる

3

導入事例増加中！ 導入～成長期ビジネスの展望解説！

経済産業省によると、日本国内における2030年までの系統用蓄電池の導入規模は、約14.1GWh～23.8GWhと推定されています。船井総研調べでは、系統用蓄電池システムの販売単価はおおよそ、1kWhあたり30万円です。これを電力量の単位に馴染みのない方にもわかりやすくお伝えすると、2030年までに**7.1兆円**もの市場規模になる見通しということです。

これだけでも投資商品として可能性を秘めている商材ということがお分かりかと思いますが、また、インターネットで「系統用蓄電池 導入」とお調べいただくと、誰もが知る超一流企業や自治体が系統用蓄電池の導入や設置をしたというニュースがいくつも出てくるのではないのでしょうか？



学べる
ポイント

- ✓ 系統用蓄電池の市場動向がわかる
- ✓ 系統用蓄電池の導入事例がわかる

4

国や自治体から補助金が出る！ 最新情報や採択のポイントを解説！

経済産業省・資源エネルギー庁が交付した、令和6年度「再生可能エネルギー導入拡大・系統用蓄電池等電力貯蔵システム導入支援事業費補助金」は、国家予算として390億円が組まれ、計27事業者へ約346億円の交付がなされました。また東京都でも、令和6年度「再エネ導入拡大を見据えた系統用大規模蓄電池導入支援事業」において130億円の予算が組まれました。令和7年度国家予算案の概算要求においても、総額400億円の補助金が組まれています。(2025年2月現在)

令和6年度の補助金では、最大補助率2/3・上限20億円の補助が出ており、補助金を活用すれば、より早い投資回収商材となります。



学べる
ポイント

- ✓ 令和7年度の最新補助金情報がわかる
- ✓ 採択や活用のポイントがわかる